

間伐材使い、炭焼き体験

今年も「まつり」開催決まる

豊橋 楽百僮 設

使ったバーベキューで懇親を深めたほか、総会も開いた。
今年も、昨年初開催の豊橋百僮人まつり」を継続。メンバーのほか、地域の飲食店にも出展してもらう。若者の育成や地域の活性化を目指す「ほの国プロジェクト」による催しも同時開催し、幅広い世代から集客、地元を生産物などをPRする。

炭焼きを体験した事務局の清水貴裕さんは「段戸山の炭を使ってみよう」とサンプルを持ち帰ったメンバーもいる。今後奥三河とのつながりを持たたい」と話している。

(中村晋也)



技術と情報発信、販 者らでつくる豊橋百僮
売力を併せ持った生産 人(ひゃくのうじん)

鈴木義弘代表が、
設楽町田峯の「段戸山
三河炭やき塾」で炭焼
きを体験した。総会も
開き、昨年に続いて「豊
橋百僮人まつり」(12
月28日)の開催を決め
た。

豊橋百僮人は、豊橋
・田原地区の農産物や
水産物などの生産者で
結成。同地区は、豊川
用水の恩恵を受け、全
国有数の農業地帯に発
展したことから、水の
恵みに感謝しようと水
源地域の奥三河を訪
れ、間伐材を利用した
炭焼きの体験会を企画
した。

間伐材をノコギリで切る参加者

段戸山三河炭やき塾で